

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

世界に冠たる投資グループへ。オルタナティブ投資でのアルファ獲得を追求し、ステークホルダーへリターンを分配する。

5年平均当期純利益
12.2億円

自己資本
179.8億円

流通株式時価総額
100億円以上

② 中長期の経営戦略

1. 基幹ファンド強化

バイアウトファンド、Spring REIT、エネクス・インフラ投資法人等での成功報酬最大化と管理報酬底上げを推進

3. 投資家層拡大

従来の銀行から保険会社、年金基金、大学、財団、個人へ投資家層を拡大するための戦略投資

2. 新規企画事業展開

BizTechファンド、航空機リースファンド、太陽光開発ファンド、インバウンド不動産投資ファンド等を推進

4. オルタナティブ投資の認知向上

IR/PR活動によるニュースリリース、セミナー等での情報発信でオルタナティブ投資の社会的認知を促進

③ 対処すべき課題

① 運用管理資産と運用パフォーマンス

- ・ 3号ファンド組成により運用管理資産を増加。銀行以外の金融機関、年金、大学等への投資家層拡大が必要
- ・ 投資プロフェッショナルが組織として活躍できる環境構築。経営資源の機動的配分とノウハウ共通化が重要
- ・ プロセス管理やリスク管理等のガバナンス体制強化が必須

② 新規企画事業と事業基盤構築

- ・ タイ、ベトナムでのコンサルティング、九州産業強靱化、百年のれんプロジェクト等で先行アドバイザーを推進
- ・ ファンド化需要を見据えた新規企画事業の損益管理体制整備が必要
- ・ 将来的なオルタナティブ投資資金によるファンド化への対応が課題

③ プライム市場基準適合と企業価値向上

- ・ 流通株式時価総額100億円以上の基準未達成。2025年12月末時点で維持基準を充たしていない状況
- ・ 成功報酬最大化、管理報酬積み上げ、自己投資収益拡充による企業価値向上が重要
- ・ ビジョン・ミッション軸のIR/PR充実と持株会社プラットフォームの資本政策が必須

面接で使えるポイント

- ・ 日本の潜在価値を引き出すため、流動性の低い国内事業に約48億円の自己投資資金を活用し基幹ファンド組成を推進
- ・ オルタナティブ投資の社会的認知が低い日本で、Spring REITやエネクス・インフラ投資法人等により投資機会を提供し浸…
- ・ 成功報酬約65億円を実現した既存ファンドと、バイアウト 1号から約19億円の成功報酬を計上。

証券コード 7347

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに

2021年7月に株式会社マーキュリアインベストメントの完全親会社として設立された

主力事業・セグメント

・証券、商品先物取引業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率34.9%と高い収益性
- ・財務健康度85点と財務基盤が健全
- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
72億円

営業利益率
34.9%

財務健康度
85点 /100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 63.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収

2,008万円

証券、商品先物取引業内 2位/36社

平均年齢

46.0歳

証券、商品先物取引業内 8位/36社

平均勤続

6.4年

証券、商品先物取引業内 24位/36社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: (株)マーキュリアホールディングス【7347】：決算情報

